

— 地域に貢献する 山口大学 —

**Yamaguchi University**  
**Financial Report 2018**

山口大学財務報告書



# 「地域から世界へ」

『地方こそ日本の力だ！』

～地域とともに 時代とともに

維新の息吹を 今 山口から世界へ～



## ◇ 山口大学の理念 ◇

「発見し・はぐくみ・かたちにする」知の広場

山大スピリット: 共同、共育、共有

ミッション: 教育・研究・**地域貢献**

## ◇ 様々な取組み ◇

- 知財教育、数理情報教育全学必修化
- 知的財産教育研究共同利用拠点校
- 教育の見える化(YU CoB CuS)
- 新病棟整備による機能強化
- JAXA等との連携協定  
工学部に応用リモートセンシング研究センターを開所

◆ **1815年創基** (200年以上の歴史)

◆ 9学部8研究科 (3キャンパス)

◆ 学生数 10,283名

(学部: 8,764名 大学院: 1,519名)

◆ 教職員数 3,842名

# 山口大学が生みだす経済波及効果



地域とともに 時代とともに 維新の息吹を 今 山口から世界へ

## 山口県経済に対する波及効果 **675億円/年**



項目	経済効果把握の視点
教育・研究活動による効果	大学が教育や研究のために経費を投ずることにより生まれる効果
教職員・学生の消費による効果	教職員の家族や学生が地域で消費活動を行うことにより生まれる効果
施設整備による効果	施設の新築や修繕のための投資により生まれる効果
その他の活動による効果	附属病院外来患者、学会来訪者、受験生等の大学関連の施設や催しへの来訪者が地域で消費活動を行うことにより生まれる効果

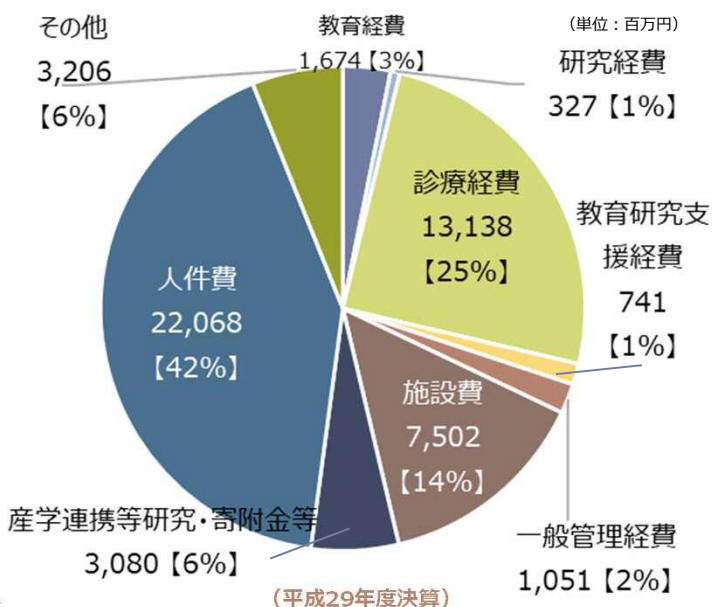
\*「山口大学の立地による地域への経済効果」(平成27年 山口大学経済学部 野村淳一准教授)のデータを活用。



# 山口大学の新たな価値創造の取組み

発見し・はぐくみ・かたちにする 知の広場

## 教育・研究活動費用 528億円



山口大学は教育・研究・社会貢献の3本の矢により地域の発展、日本そして世界の発展に貢献します。

地域活性化とグローバル化を見据え、COC + 事業「やまぐち未来創生リーダー」育成プログラムの実施、知財教育、英語教育の充実など、特徴ある教育を提供しています。

研究面では、地域に根ざした「山口学研究」と、優れた研究を有機的に結びつける特徴ある「研究拠点」を設置し、世界に発信しています。

また、医学部附属病院では、地域医療の拠点として国立大学では初となる二度目の病院再整備を進めています。

## 知的財産教育の拠点

### 知的財産教育の推進費

約3,800万円

- 主な経費  
教材開発費 (e-learningを含む)、特許検索システムの機能向上など



山口大学オリジナル教材

## 教育

- 2013年に文系から理系まで**全学部の1年生全員を対象とした知財教育の必修授業**を開設しました。
- 現在は**大学院にも必修知的財産科目**を開設し、知的財産センターと教育組織の緊密な連携を図りながら全学的・体系的な教育カリキュラムや教材等を開発・整備しています。
- 2015年**全国初の知的財産教育共同利用拠点校の認定**を受け、現在は**全国各地の大学等に向けてその普及を図り、知財教育をリード**しています。

## 研究拠点形成の支援

### 研究プロジェクトの推進費

約3,350万円

- 主な経費  
研究に必要な物品購入費、研究成果発信のための経費など

## 研究

- 大学の**独創的・先進的**な研究を育成し、世界の学術研究をリードする「**研究拠点群**」を形成するとともに**異分野融合**の特徴的な研究分野を開拓することにより、「**地方創生**」を牽引する「**研究所・研究センター**」として**自立化**させるためのスタートアップ支援を行っています。





## 地域連携

### 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+事業)

#### 事業費 (文部科学省補助金)

約7,800万円

- 主な経費  
コーディネーター雇用経費、事業運営に必要な物品購入費、JOBフェア開催費など

- 若者の地元定着や企業が求める人材育成等を通じ、地方の人口減少と地域経済の縮小に歯止めをかけ、地方創生につなげることを目的として、「やまぐち未来創生リーダー(YFL)」育成プログラムなどを実施しています。



### 山口学研究プロジェクト

#### プロジェクト実施経費

約720万円

- 主な経費  
プロジェクトに必要な物品購入費、協力者への謝金など

- 山口県の将来のあるべき姿を提案するため、「山口学研究プロジェクト～明治150年から見える山口県の未来～」を特別プロジェクトとして立ち上げ、研究を進めました。



プロジェクト成果の発信

### 医学教育・研究の推進、病院再整備

## 医療

#### 施設費

約58億1,900万円

- 主な経費  
医学部新総合研究棟A、医学部附属病院新病棟の整備など



新病棟  
建設費総額  
約181億円

医学部附属病院新病棟(2019年6月開院予定)



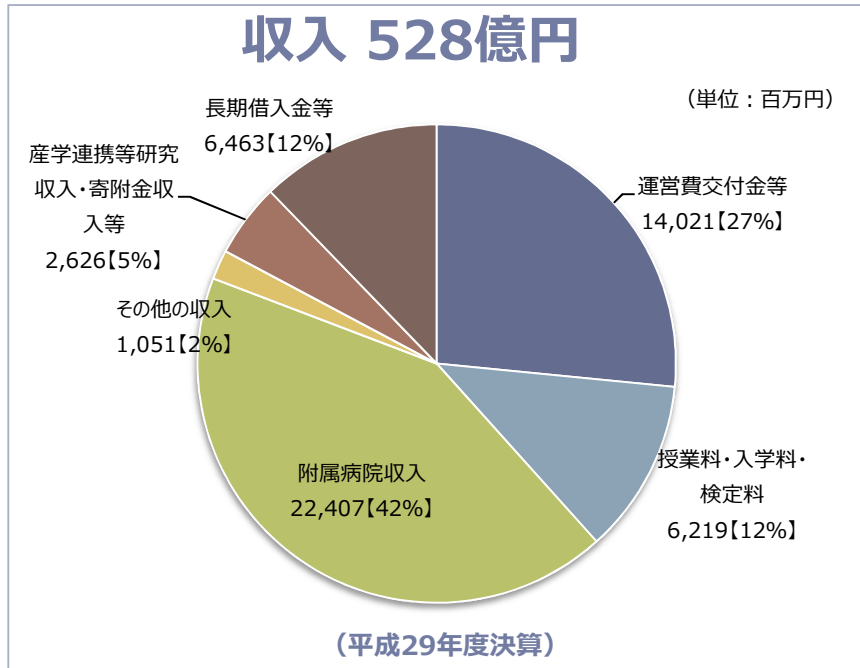
医学部新総合研究棟A (愛称：医修館)

- 地域・世界に貢献する医療人材育成を目指し、医学部に新総合研究棟Aを整備しました。
- 医療を取り巻く環境の変化に対応し、地域医療の中核機関として病院再整備を進めています。

# 山口大学の財政基盤



発見し・はぐくみ・かたちにする 知の広場



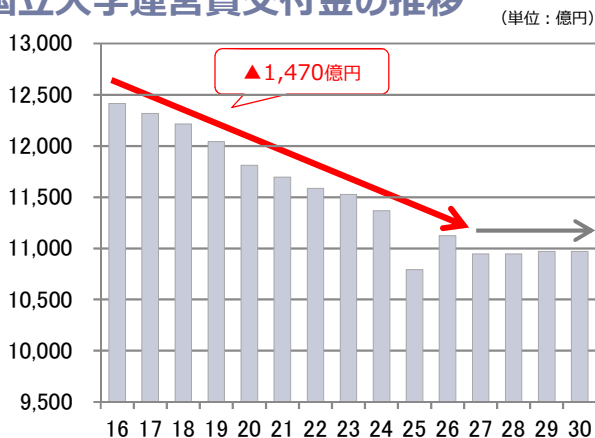
種類	負担者
運営費交付金	国民(税金)
授業料等	学生保護者
附属病院収入	患者
産学連携等研究収入	国民(税金) 企業
寄附金収入	企業、個人、卒業生等

### 教育・研究環境の充実のために

- 国から交付される運営費交付金は平成16年度の法人化後11年間で1,470億円減少しており、山口大学の運営費交付金においては法人化後22億円減少しました。
- 安定的な大学運営のためには運営費交付金以外の財源の多様化が求められています。
- 企業や地域の皆さまからの研究費や寄附金など外部資金を受け入れるために新たな仕組みを整備しています。(例) ネーミングライツ、学食トレイ広告、地域連携講座、学術指導制度 etc.

国民(税金)から

### 国立大学運営費交付金の推移



### 授業料等

学生、保護者の皆さまから

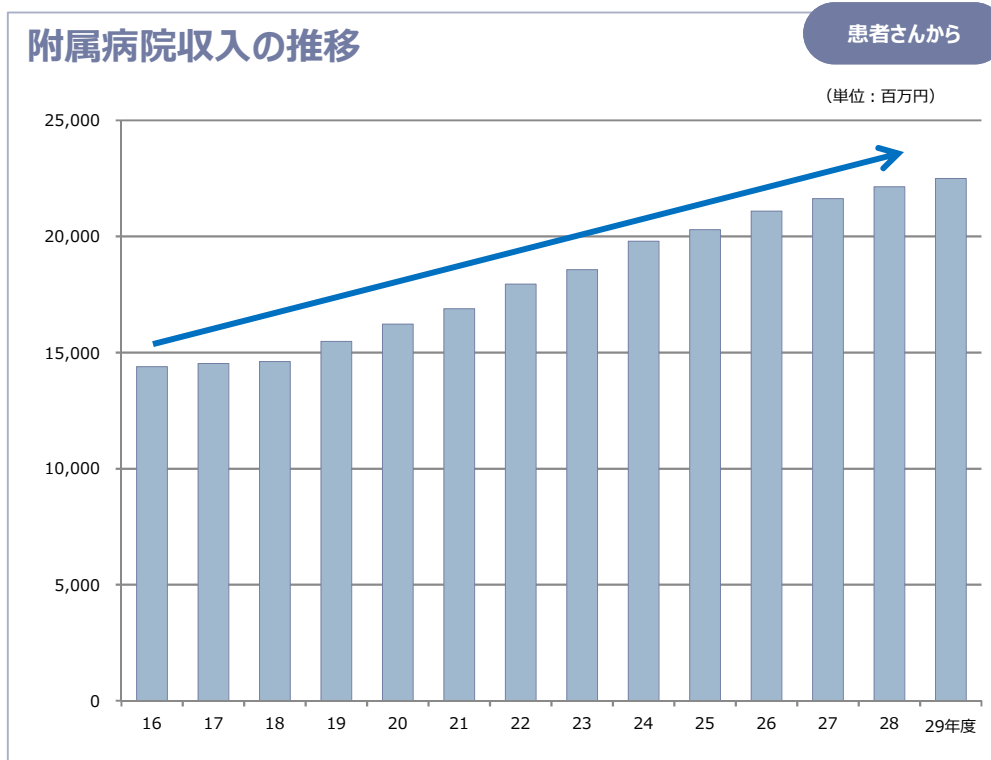
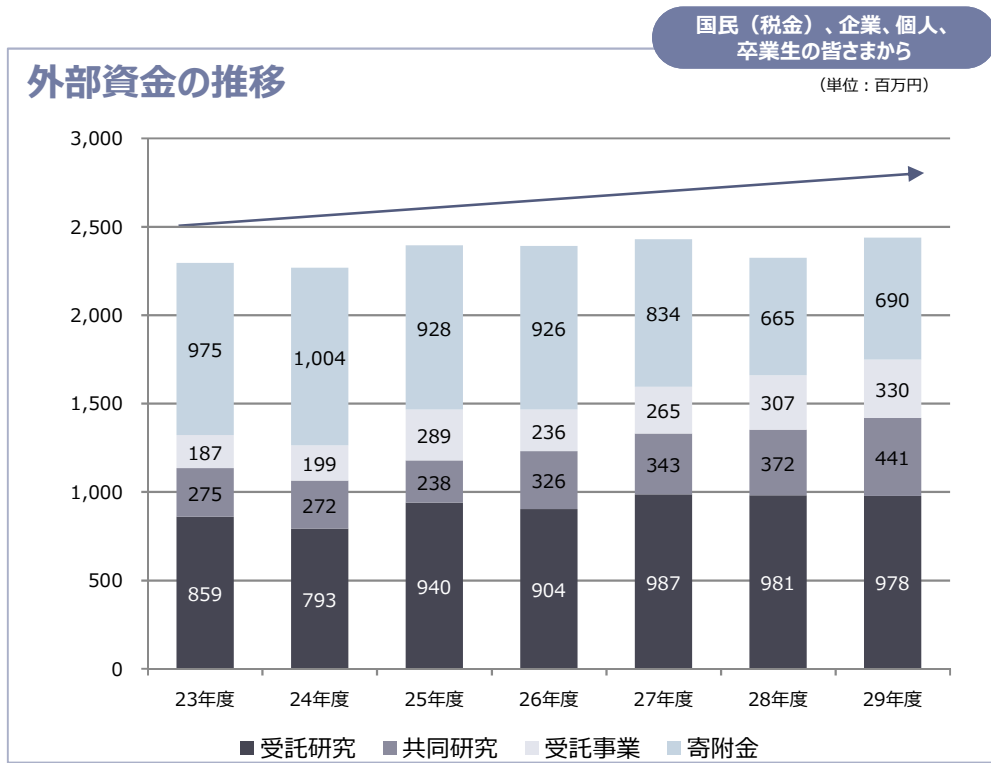
授業料

授業料 **535,800円**  
**平成16年度から同額**

近年は**授業料免除**や**山口大学基金による支援**など、**経済的困難を抱える学生への支援**を進めています。







**山口大学の教育・研究活動はステークホルダーの皆さまによって支えられています。**

# 山口大学基金



新たな200年へ未来の「長州ファイブ」が羽ばたきます。

## 支援事業

### 学生への修学支援

- 返還を要しない給付型奨学金  
 新生10名に、卒業年次まで  
 毎年63万円を給付



実績：30名、3,780万円(H28～)

- 経済的な理由により、授業料の納付が困難となつた学生への授業料の一部を支援

実績：2名、40万円(H28～)

- 留学・長期インターンシップ等で奨学金の支給が停止または終了した学生の支援

- 学生の海外派遣支援（海外留学）

実績：316名、3,350万円(H28～)

- 外国人留学生の支援

実績：32名、1,728万円(H28～)



### 国際交流事業支援

- 海外との学术交流、国際会議の開催、教職員の海外派遣に要する経費の支援 など



実績：12件、480万円(H30～)

### 地域連携・地域貢献活動事業支援

- 大学と地域の交流、教育研究成果の地域への還元等の活動にかかる経費の支援 など



実績：7件、100万円(H30～)

## 事業継続経費

- 今後も継続して支援事業を実施していくためには、毎年4000万円の経費が必要です。
- 本事業に基づく優れた人材育成、研究には皆さまからのご寄付が不可欠です。
- 本学の取り組みをご理解いただくとともに、皆さまからのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



### その他の学生への支援

- 大会等で優秀な成績を挙げた課外活動、団体への支援

実績：4団体、40万円(H28～)



- 学生の海外派遣支援（国際学会発表等）

実績：21名、263万円(H30～)



- 学生の就職支援、教育環境の改善等の支援

実績：4件、240万円(H30～)



## 税制上のメリット

- 個人の場合、山口大学基金（学生の修学支援）へのご寄付は、確定申告により最大で寄附額の約4割 + 住民税の約1割（※）が税額控除されます。その他へのご寄附は、所得控除の対象となります。（※）住民税については、山口大学を「寄附金税額控除対象法人」として条例で指定している地方自治体の場合
- 法人の場合、寄附金の全額を損金処理できます。

### 教育・研究支援

実績：16件、337万円(H30～)



### 山口大学基金についてのお問合せ先



山口大学基金事務局  
 TEL:083-933-5622  
 FAX:083-933-5624

